

まきおがわ

榎尾川 通信

VOL. 1

H25.10



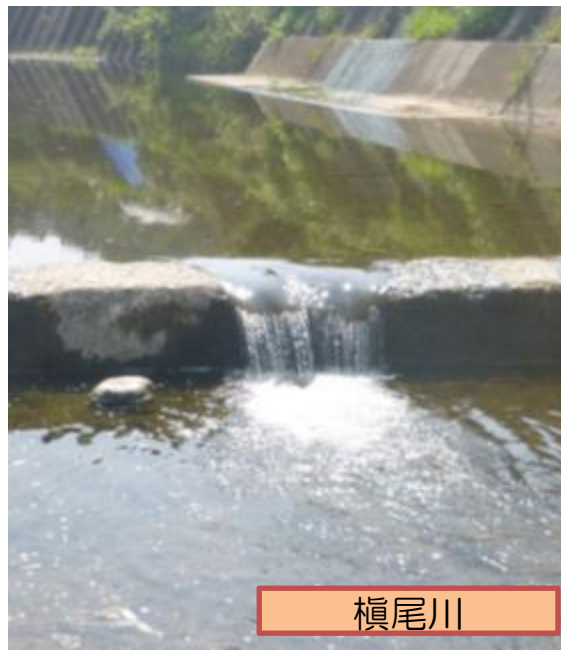
ヤマザクラ



榎尾山



管理道



榎尾川



航空写真



カジカガエル

広報誌の発行目的と、河川改修の必要性

発行目的

大阪府では、槇尾川上流の治水対策につきまして、『人命を守る』ことを最優先に、ダムに頼らない「真に水害に強いまち」の実現を目指し、「道」、「川」、「森」の3つのテーマに分けた取り組みを実施しております。

今後、この冊子で、皆様にその取り組み内容を分かりやすくお知らせいたしますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

過去の主な水害

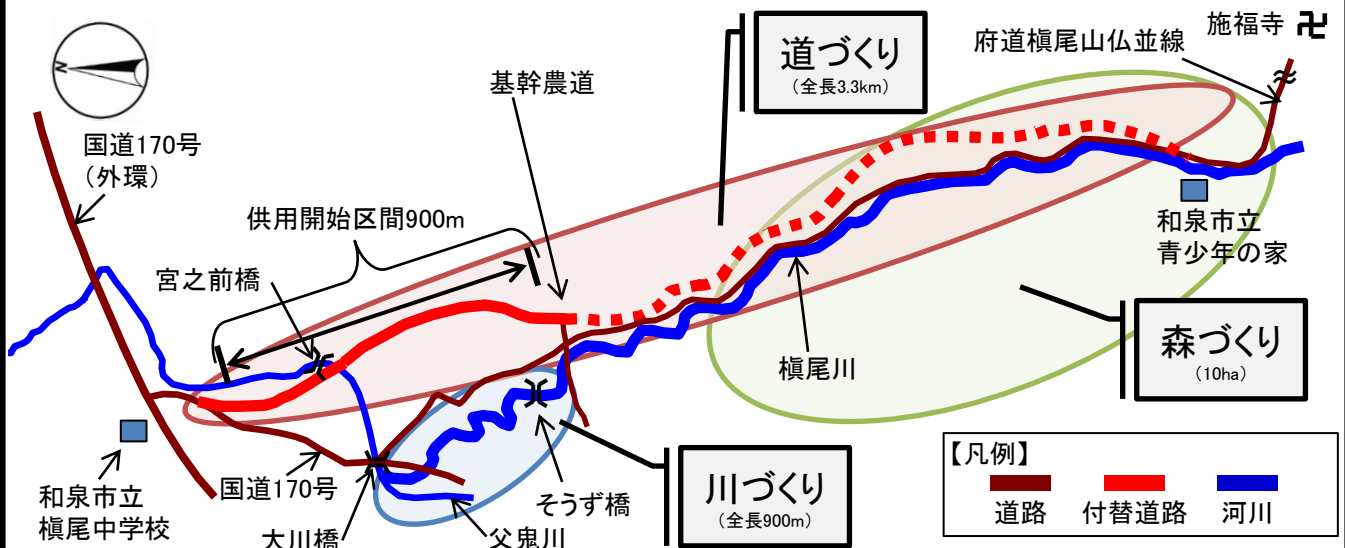
- ・ 昭和27年7月:集中豪雨により、堤防決壊のため泉大津市等で大きな被害が発生。
- ・ 昭和57年8月:台風による浸水被害を契機に、槇尾川等の治水計画の見直しに着手。
- ・ 平成7年7月:集中豪雨により、和泉市地域にも大きな被害が発生。

治水対策の必要性大

【平成7年7月の災害】



全体地図



道づくり (付替道路事業)

- ・ 一般府道榎尾山仏並線の付替事業です。
- ・ 全長3.3km (青少年の家～旧170号間)のうち、平成25年3月に、約900m (基幹農道～旧170号間)の供用を開始しました。
- ・ 現在、残りの2.4kmにおいても、各地点で工事を進めています。



川づくり (河川改修事業)

概要

- ・ 槇尾川上流（父鬼川合流点～そうず橋上流の約900m）で、時間雨量65ミリ程度の降雨に対応するため、河川拡幅や河床掘削を実施します。

経緯

平成23.8月	大阪府知事と地元の皆様による意見交換会を経て、現地測量に着手。
平成24.3～6月	地元の皆様と複数回の意見交換会を経て、河川改修計画概略案を作成。
平成24.9月	河川拡幅に必要な用地買収面積の確定のために、地元の皆様と用地境界の現地確認を実施。
現在	河川拡幅により、かけ替えが必要となる橋等の詳細設計を実施中。

引き続き、地元の皆様の協力を得ながら、槇尾川上流部の河川改修の早期完成に努めます



森づくり (笑働の森活動)

活動目的

- ・ 槇尾川ダム事業地を、笑働OSAKAのシンボルとして、自然とふれあい、府民が交流する森へと再生することを目的とし、地元の皆様を始め、学生や企業、和泉市・大阪府による協働で、道・川・森等の整備を進めています。

活動内容

- ・ これまで14回の活動を実施しています。（平成25年8月現在）
- ・ 現在まで、現地間伐材を利用してベンチづくりを行ったり、森へ植樹するための苗木を育苗したり、森の中の作業道に現地木材をチップ化したものをまく（チップ舗装）作業を行ってきました。

ベンチづくり



育苗ゾーン



チップ舗装作業



平成25年11/2(土)には、記念植樹祭を開催します。
(詳しくは、次面をご覧ください。)

笑働の森・いずみいのちの森記念植樹祭 & 榎尾っ子まつり

とき：平成25年11月2日（土） 9:00～15:00（雨天決行）
ところ：榎尾川上流部周辺、青少年の家、榎尾中学校
主催：横山校区町会連合会
共催：翔け榎尾っ子の会、いずみいのちの森実行委員会、大阪府

内容

森の中にて

10:00～ さくら・もみじの記念植樹式
いずみ太鼓 鼓聖泉による演奏
ギャルみこし巡行
どんぐりの苗などの植樹
森の管理道散策

榎尾中学校にて

9:00～ コンサートの開催
（榎尾中学校にて）

その他青少年の家にて

- ・笑働の森づくり等パネル展示
11:00～15:00
- ・木工体験 模擬店
11:00～15:00
- ・榎尾川で足湯体験
11:00～15:00

青少年の家にて

12:00～ 昼食交流会
13:00～ 大阪府警察音楽隊・
カラーガード隊による演奏

ダムに頼らない「真に水害に強いまち」の実現を目指して、地域の皆様との森の再生「笑働の森づくり」が進んでいます。

このたび、森の中の管理道ができ、『さくら祭り・もみじ祭り』の復活を願って、ヤマザクラやイロハモミジの植樹や、あわせて森の保水能力向上のため、「いずみいのちの森プロジェクト」で育てたどんぐりの苗などの植樹をします。

また、毎年恒例の「榎尾っ子まつり」も、今年は笑働の森地区で開催します。是非、皆様のご参加をお待ちしております。

大阪府



笑働
OSAKA

ご意見・ご感想をお待ちしております

この榎尾川通信をご覧になったご意見・ご感想をお寄せください

鳳土木事務所建設課 和泉工区

TEL0725 (43) 8333 FAX0725 (43) 8334

多岐にわたる協働の根源は「笑顔になること」「笑顔にすること」と捉え、協働するひとに感謝を表すことも含め『笑働』とネーミングし、そのコンセプトをさまざまなひとに訴え、ひとり一人の行動の変化を促します。